

# 海外自治体幹部交流協力セミナー2011(ニューヨーク事務所) 地方交流事業概要

## 【地方交流事業】

### 10月25日(火)【移動(東京→宮城県)/県知事表敬/講義】

#### (1)副知事表敬

若生 正博氏

挨拶、記念品交換、写真撮影を行った。

#### (2)宮城県概要説明

宮城県の概要について、国際経済・交流課 千葉隆政氏が説明

#### (3)宮城県プレゼンテーション

##### ①東日本大震災による被害状況及びこれまでの対応

参加者の関心は高く、アメリカの援助協定と比較しての質問、がれきの処理に関する法律の規制緩和に関する質問があった。

##### ②原発事故の影響と女川原発の対応状況

放射能の影響についての質問と、原子力発電所に国際的な専門家が来たことがあるのかといった質問があった。

##### ③宮城県震災復興計画

計画策定にあたっての県民の反応について、また逆に県から県民への要望についての質問があった。



副知事表敬



宮城県プレゼンテーション

### 10月26日(水)【副市長表敬/講義/県内視察】

#### (1)南三陸町

被災状況について、危機管理課の佐藤 智係長より説明を伺った。

また、実際に多くの職員が亡くなった防災対策庁舎も視察した。

「1,000年に1度の津波に備える防波堤を作るよりも、住民の方々にいち早く逃げていただく意識をもつていただくことが必要。しかし、津波後何年かは真剣になるが、時間が経つにつれて忘れられていく」と佐藤係長がおっしゃった言葉に、参加者全員が「決して忘れてはいけない」との気持ちを一つにした。



防災対策庁舎視察

## (2) 石巻市

### ① 副市長挨拶

北村 悦郎氏

### ② 石巻市復興計画案の概要

### ③ 仮設住宅について

### ④ 仮設住宅現地視察

参加者の方々からは、仮設住宅に関する質問が多く出た。仮設住宅のモデルとなる住宅、仮設住宅に住んでいる人数、家賃、コミュニティの形成、期限についての質問がたつた。仮設住宅に入っている方々は、これから自立していただくことが目的で、そのようなサポートをするための雇用施策などが課題であるとのことだった。



## 10月27日(木) 【視察/意見交換会】

### (1) 仙台空港、仙台港視察

当日の津波被害状況についての説明があった。

### (2) 東北大学大学院環境科学研究科エコラボ視察

エコラボの研究成果について説明があった。

### (3) 青葉城跡(伊達武将隊)

伊達武将隊に扮した何名かが城跡にいて、一緒に写真を撮るなど、観光客を盛り上げていた。参加者も喜んでいました。

### (3) 意見交換

参加者からの関心が高く、追加質問と参加者から感想を聞いている途中で時間がなくなってしまった。

県が危機管理のリーダーシップを取って復興施策を進めているその体制に関心を示されていた。

また、いろいろな情報を惜しみなく提供してくれたことに感銘を受け、また逆にフィードバック等ほしい情報があればいつでもいってほしいとの声があった。



## 10月28日(金) 【視察】

### (1) 松島、観瀾亭、瑞巖寺、円通院

松島周辺は震災の被害はほとんど見受けられなかったが、観光客は激減しているとのことだった。